

平成18年度 第2回 経営戦略会議 審議結果

日時：平成18年4月18日（火）9:30 ～ 11:00

場所：5F 庁議室

【議題】「熊本都市圏及び政令指定都市についての研究会」における
都市圏戦略の基本的方向について

【提案局】企画財政局（広域行政推進室）

【出席者】幸山市長、三嶋副市長、川上収入役、木村市長室長、寺本総務局長、
今長企画財政局長、宗村企画財政局次長、原市民生活局長、谷口健康福祉局長、
小牧環境保全局長、岡本経済振興局長、松本都市整備局長、上田建設局長、
中山消防局長、石田交通事業管理者、東水道事業管理者、永山教育長

【付議内容】以下の事柄に対し、各局からの意見をいただきたい。

- 1 「熊本都市圏及び政令指定都市についての研究会」のこれまでの経緯について
- 2 都市圏戦略の基本的方向（たたき台）について

【資料】◇熊本都市圏及び政令指定都市についての研究会について

- ◇「熊本都市圏及び政令指定市についての研究会」スケジュール
- ◇ 都市圏ビジョンの全体構成 ◇熊本都市圏の現状と課題について
- ◇ 第1回作業部会報告 ◇第1回作業部会事前調査取りまとめ
- ◇ 構成市町村総合計画等一覧 ◇都市圏戦略の基本的方向（たたき台）

【審議結果】◆原案どおり承認

【議事概要】◇都市圏戦略の基本的方向として「定住促進」があるが、そのためには居住環境整備や産業振興に加え、熊本都市圏全体で教育力の向上や文化の質を高めていくことが重要である。

- ◇ 熊本都市圏には、豊富な地下水、豊かな緑、歴史・伝統文化など強みがある。これらの居住性をうりにし、人を滞留させるためには、都市圏で地下水の涵養や緑の保全に連携して取り組むことや、道路や交通体系を協働で整備することが必要である。
- ◇ 都市圏戦略の基本的方向の策定にあたっては、そこに住んでいる人の視点で考えることが大切。都市圏研究会では、各市町村が互いに知恵を出し合って策定作業を行うとともに、各分野でもそれぞれで交流や連携を進めていただきたい。